

広報もおか



採れたていちごのひな祭りケーキづくり体験 (P12 関連記事)

広報もおか 851号/令和8年4月1日発行/発行人 真岡市長 中村和彦/編集 秘書広報課広報広聴係

〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191 / TEL 0285-83-8100 / FAX 0285-83-5896 / HP <https://www.city.moka.lg.jp/>

No.181 わか家の天使たち



鷲巢の
もとほし ゆうり
本橋 侑理くん(0)
えみり
慧美里ちゃん(3)

生まれてきてくれて
ありがとう。かわい
い笑顔をありがとう。
これからたくさん
楽しいことをしよう
ね。えみちゃん、ゆ
うちゃん!大きく元
気にそだってね!
(パパ・ママより)

笑顔 をさがして

418人目の笑顔さん
こくぼ まや
小久保 摩耶 さん



真岡市の海外姉妹都
市のグレンドーラ市
にてインターンシッ
プを行いました。真
岡の良さを実感し、
市へ貢献したいとい
う思いが強くなりま
した。真岡市国際交
流ボランティアとし
て活動を頑張ってい
ます!

二宮尊徳 に学ぶ Vol.01



令和8年
11/27(金)・28(土)開催 「第31回全国報徳サミット真岡市大会」

(問)・文化課文化財係Tel 83-7735

二宮尊徳資料館Tel 75-7155

9:00~16:30 休館日:月曜日(祝日・
休日を除く)祝日・振替休日の翌日、年末年始



報徳サミットHP
ID26193

●二宮尊徳と報徳サミット



二宮金次郎といえば「薪を背負っ
て本を読む少年」。この金次郎少年は、
大人になってからの名を「尊徳」と
いい、約200年前に桜町の復興を成
し遂げ「報徳の考え方」を広めました。
報徳サミットはその偉功と考え方を、

ゆかりのある全国17市町村が集い、現代にどう生
かすかを考える全国規模の大会です。

●尊徳のはたらきと思想

幼少期に両親を失った
尊徳は、実家を再建する
と、その才を小田原藩主・
大久保忠真に認められ、
物井村・横田村・東沼村
(桜町領)の復興を命じら
れました。復興は困難を



復元した報徳田での田植えの様子

伴いましたが、彼独自の工夫と「みんなで支え合い
未来へ力を積み重ねる」仕組みを作り、桜町にとど
まらず全国600以上の村を復興へと導きました。



《国指定史跡》桜町陣屋跡と見事な古木の桜並木

尊徳がこれまでの人生経験と独自の発想の
もとに作り上げた考え方は「報徳思想」と呼
ばれます。自然や社会から受けた恵みに感謝
し、自分にできることを行い、次の世代へつな
いでいくという考え方です。尊徳が広めたこ
の“報徳の考え方”は今の私たちの暮らしや
地域づくりにも通じるものがあります。

今後、市ではさまざまな形で参加できる
「報徳サミット」関連事業を展開していきます。
この機会に、金次郎少年のその後の歩みと、
今につながる「報徳」の心にぜひ触れてみて
ください。

特集

当初予算・重点事業
いちごバスのバス停と時刻表が変更
とちまる緊急安心電話相談
真岡市の広報紙が変わります!

市公式アプリ

市からのお知らせ、防災行政無線などをスマホで!



Android版

iPhone版